

幼稚園名：中央区立月島幼稚園 所在地：中央区月島1-9-7

園長名：上竹 陽子

幼児数：145名 学級数：7学級

教員数：16名（幼稚園講師・特別支援補佐員含む） 職員数：2名

1 重点目標の達成状況及び取組状況

○アンケート実施状況

▶実施時期 12月

▶教員8人中8人回答 回答率（100%）、保護者145人中142人回答（98%）

A 十分達成している B 達成している C 改善を要する D 緊急に改善を要する ※わからない

評価指標の姿を3歳児・4歳児・5歳児の発達に応じて具体的に表記して、保護者アンケートを実施した。3つの重点目標において、A（十分達成している）・B（達成している）を合わせると、保護者・教員とも全て8割を超え、概ね目標を達成し、保護者より今年度の教育活動に理解と支持を得たと考える。

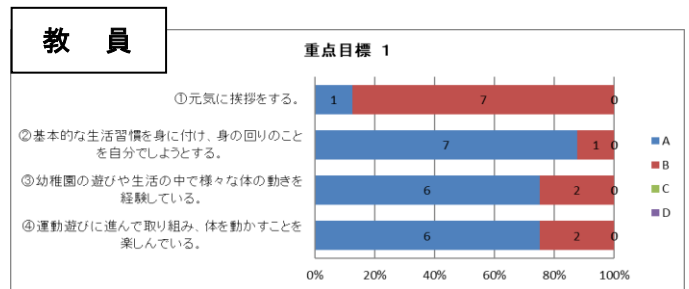
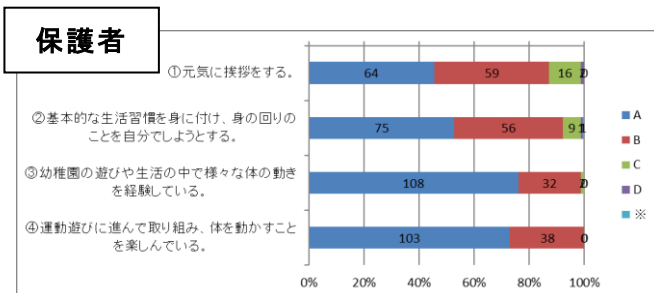
●重点目標1 健康な体づくりの推進

評価指標：①元気に挨拶をする。

②基本的な生活習慣を身に付け、身の回りのことを自分でしようとする。

③幼稚園の遊びや生活の中で様々な体の動きを経験している。

④運動遊びに進んで取り組み、体を動かすことを楽しんでいる。



【重点目標1について】

- ・評価指標①については、教員の評価がBの割合が高く、保護者もBの割合が高めである。幼児の挨拶は、言葉として表現されるだけではないことを踏まえ、一人一人の幼児が教師や友達に安心して関わろうとしているか、また幼児が安心して自ら関わることができるような働き掛けができたかどうかを振り返り、指導に生かしていく必要がある。
- ・評価指標②では、保護者の評価がAとBがほぼ同じ割合である。基本的な生活習慣がおおよそ身に付いているものの、幼児が自ら行動するようになってほしいという期待も感じられる。家庭と連携しながら幼児が意欲的に身の回りのことに取り組めるようにしていきたい。
- ・評価指標③、④では、保護者の評価が高く、Aが7割を超えている。今年度、運動遊びについて園内研究で取り組んできた内容なので、教員が意識をもって実践した成果と考える。

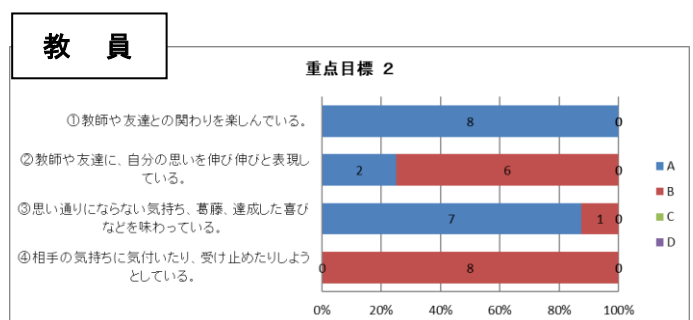
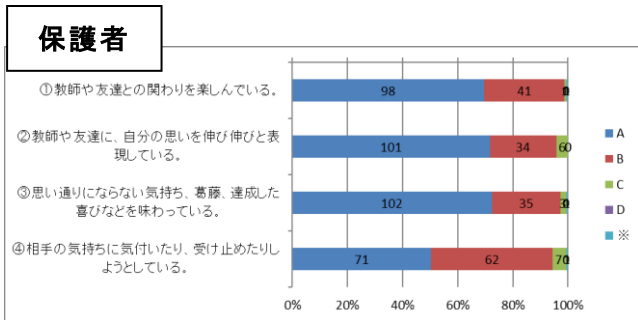
●重点目標 2 豊かに感じる心の醸成

評価指標：①教師や友達との関わりを楽しんでいる。

②教師や友達に、自分の思いを伸び伸びと表現している。

③思い通りにならない気持ち、葛藤、達成した喜びなどを味わっている。

④相手の気持ちに気付いたり、受け止めたりしようとしている。



【重点目標 2 について】

- ・評価指標①、②、③について、Aと評価した保護者が6割を超えている。幼児が園生活の中で教師や友達との関わりを楽しみ、自分の思いを出しながら、様々な感情を味わいながら過ごすことができていると捉えていただいている。一方、教師の評価の中では、②についてBの割合がAよりも高いことから、幼児一人一人がもっと自分の思いを出せるような指導の改善の余地があるのではないかという反省が読み取れる。次年度の指導に反映させていく。
- ・評価指標④について全教員がBと評価している。保護者の評価もBの割合が高めである。今後は、どのような姿に育ててほしいのかという幼児像を具体的にイメージし、幼児の心に寄り添い理解しようとする教師の意識を高めて、「相手の気持ちに気付いたり、受け止めたりしようとする」心情を育むことに努める。また、幼児同士をつなぐ働き掛けや、学級全体で他者の気持ちを客観的に考えるような機会づくりを計画的に行うとともに、保護者への伝え方を工夫していきたいと考える。

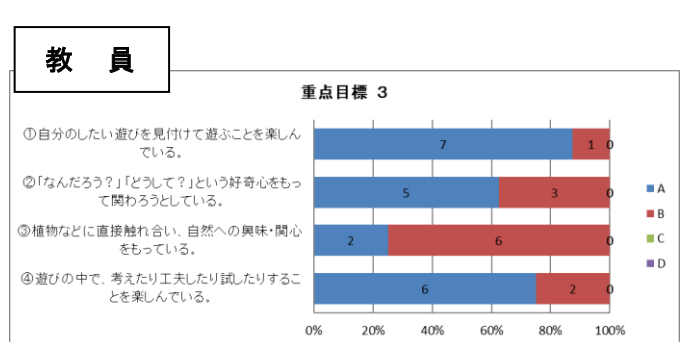
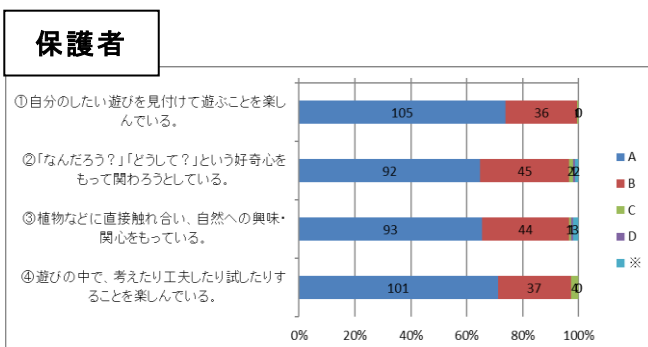
●重点目標 3 自ら考え行動する力の育成

評価指標：①自分のしたい遊びを見つけて遊ぶことを楽しんでいる。

②「なんだろう?」「どうして?」という好奇心をもって関わろうとしている。

③植物などに直接触れ合い、自然への興味・関心をもっている。

④遊びの中で、考えたり工夫したり試したりすることを楽しんでいる。



【重点目標 3 について】

- ・評価指標①、②、について、保護者・教員ともにAの評価が6割を超えている。次年度も、幼児の主体性や思考力の芽生えを大切にしながら、指導の工夫をしていく。

- ・評価指標③については、保護者の A 評価が 6 割を超えている一方で教員の評価は B の割合が高い。昨年度から続いている大規模改修工事により、園庭に仮囲いが施され、園内の自然環境を十分に生かせなかった反省が読み取れる。保護者の評価からは、そのような中でもプランターでの栽培活動や自然物を集めて幼児が遊びに取り入れられるように環境の工夫をしてきたことの成果を感じていただけたと考える。次年度は、幼児が自然と関わりながら豊かな体験ができるよう、一層の工夫をしていきたい。

2 重点目標以外の自己評価と保護者による全方位的な評価における達成状況及び達成のための取組状況

(1) 教員の自己評価 結果と分析

- ・「学校間の連携」、「研修」、「施設開放」、「子育て支援」で課題が見られた。
新型コロナウイルス感染症の影響により、対外的な交流活動や研修、施設開放等がほとんど実施できなかったことによる評価と考える。
- ・学校間の連携については、状況が改善し交流が可能になった際に実施できるよう、連携を図っていきたい。また、直接的な交流以外の方法についても検討していく。
- ・研修については、オンラインでの研修を積極的に活用していく。また、園内の研修機能を強化するために、OJT や園内研究会をより充実させていく。
- ・写真やイラストを活用して教育内容や経験内容が伝わる情報発信の工夫をするとともに、子育て支援については、未就園児への施設開放「つきしまランド」の回数を増やし、内容の充実に努めていく。

(2) 保護者評価結果と分析

- ・多くの項目で、昨年度よりも A 評価の回答が増加した。特に、「幼児理解」、「教職員の協力体制」、「相談対応」、「保護者への情報発信」については、10%以上上がっている。様々な行事が変更される中、感染予防に配慮した上で公開保育や個人面談等を実施したことや、休園期間中の情報発信を積極的に行ったことが一因と考える。
- ・感染対策についても、9割以上の方が「感染予防に配慮して活動を行っている」と回答しており、園の対策についてご理解いただいていることが分かった。

3 今後の改善方策

今年度の評価を踏まえて、次年度は、幼児一人一人の学びと心の育ちに重点をおき、保護者への発信方法についてさらなる工夫をする。また、開園90周年の節目としての行事の精選を進め、教育活動を一層充実させていく。